

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	空家等対策事業		担当部署	経済建設部 まちづくり課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	空家等の推進に関する特別措置法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		居住環境			
施策	1	良好な居住環境の整備			
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内の空家等及びその所有者等。														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	災害等により倒壊し、道路の閉塞や隣地等に影響を与えるおそれのある老朽空き家の除却を促進するとともに、空家等の適正管理や利活用を促進する。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	H26年度より実施している、老朽危険空き家除却支援事業を引き続き実施し、災害等により倒壊し、道路の閉塞や隣地等に影響を与えるおそれのある老朽空き家の除却を促進する。 鳴門市の空家等対策の基本方針を定めるための空家等対策計画の策定に向け、空家等対策計画協議会を開催し、協議を行う。 著しく周辺に悪影響を及ぼしている空家等を特定空家等に認定し、指導等を行う。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>除却補助実施戸数</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>戸</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	除却補助実施戸数	15	15	15	15	15	戸
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
除却補助実施戸数	15	15	15	15	15	戸										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①広報なると及び公式ウェブサイトにて事業実施のお知らせを行った。 ②補助事業に関する相談があれば、申請に先立ち、補助要件を満たしているかどうか判断するための事前調査を行った。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 広報なると掲載回数	1	1	1	1	1	回
	2 補助申請相談人数	43	35	40	40	40	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	除却補助実施戸数	12	12	-	-	-	戸
	目標達成率(実績/目標)		80.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	4,500	2,250	0	0	2,592	9,342
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	4,500	2,250	0	0	2,592	9,342
		決算額	2,983	1,489	0	0	1,697	6,169
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		2.0	0.0		14,468		20,637	

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	6,767	6,169	9,362	9,305	9,323
	うち一般財源	2,110	1,697	2,612	2,555	2,573
	人件費	14,266	14,468	14,468	14,468	14,468
	総事業費	21,033	20,637	23,830	23,773	23,791

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		広報なるとや公式ウェブサイトを見て補助申請の相談に来る方も多く、効果があった。
	効率性	B:概ね効率的だった		申請前に補助対象になるか判断することで、補助申請手続きにかかる無駄を省くことができた。
②成果に対する評価	指標名	除却補助実施戸数		募集戸数分全て実施することができた。
	目標	15	戸	
	実績	12	戸	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		目標概ね達成できたが、活動内容については、有効性、効率性の観点からまだ向上の余地があると考えられる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽危険空き家除却支援事業としては、募集戸数を超える申し込みがあるが、県費の枠が限られているため、今後大幅な募集枠増加は難しいが、少しでも多く実績を増やしたい。</li> <li>・空家等対策計画を策定したので、今後は計画に基づいた施策を展開していきたい。</li> <li>・特定空家等については、2戸認定できたので、今後指導等を進めていくとともに、新規の認定についても検討を進めたい。</li> </ul>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽危険空き家除却支援事業の目標戸数を15戸とする。</li> <li>・空き家跡地の固定資産税減免制度を創設する。</li> <li>・特定空家等の新規認定・指導等を行う。</li> </ul>			
	H31年度	H30年度に生じた課題に対し、改善を行う。			